

「いこま市議会のうごきNo.162」アンケート結果

「いこま市議会のうごきNo.162」のアンケート結果は下記のとおりです。

【実施期間】 令和7年5月30日（金曜日）～6月13日（金曜日）

【回答者】 11名

【質問数】 3問

問1：年代をお伺いします。

A 18歳未満	0
B 18～39歳	4
C 40～64歳	5
D 65～79歳	2
E 80歳以上	0
合計	11

問2：市政に関心のある事柄はありますか。（複数回答可）

A 子育て・教育支援	8
B 防災対策と安全管理	4
C 公共交通と交通インフラの改善	5
D 環境保護と清掃活動	1
E 高齢者支援と福祉サービス	2
F その他	1

F その他

●近隣の公園はペット禁止の公園が多いので、ペットが楽しめる公園がほしい。

問3：「いこま市議会のうごき」について、ご意見・ご要望や読んでみたい記事などがあればご自由にお書きください。

●市内路線バスが廃線、減便になる傾向です。生駒市として、市民の足である路線バスを確保してほしい。1時間に2本程度の運行では、ますます乗客が減少するのでは。

●A 子育て支援について

公園の遊具を新しくしたり、みっくらんどの時間を変更したりと子育て支援を拡充してくれているが、もう少し経済支援をしてほしいと感じることがある。

オムツ代の補助や家事代行サービスの補助券の増額、産後ケア施設のデイ利用の補助の拡充などしてほしいし、他にもあれば検討してほしい。

市議会の一般質問に、子育てや出産に関する質問が無いことも気になる。これからの少子化に向けて、生駒市はどのようにして子どもを増やしていこうとしているのか、もっと見える化してほしい。

B 防災対策

防災対策として小明の方に新しくランプを建設する話があったと思うが、一向に進んでいないように感じる。現状をわかりやすくHP等にはできないのか。

C Bに同上の内容と、交通バスのノンステップ化を進めてほしい。ベビーカーを押していると乗れずバスを何本も見送ることがある。

●近鉄百貨店のハロー赤ちゃんが閉店になり、生駒周辺で赤ちゃん用品を購入できる専門店が西松屋しかなく、車がないと行くことが難しい。駅周辺に赤ちゃんや子育ての専門店を誘致してほしい。

●質問議員に答弁をしている部署がどこなのか明記されていた方が、所管している課が分かりやすくていいのではないかと思う。

●学童の民営化の動きはどの程度進んでいますか？働く親にとって学童の運営に参加することはかなりの負担になっています。

役員をしたくないから小4ぐらいで学童を退所する子もいると聞きます。これでは家で1人で過ごす子供が増え、子供達の安全が守られるとは言えません。早急に動いてほしいです。

●市議会での議論や議決結果がよく分かる。落語会や音楽会の料金が上がり、年金生活者には参加しにくくなった。文化を生で楽しむ場は大切な市民サービスであり、他のムダを省いて安価にしてほしい。

●辰巳議員が論じた小・中学校の熱中症対策ですが、そもそも、夏休みの後半に登校させ、一番暑い昼に下校させること事態が、熱中症に至る最悪な事案だと考えます。

生駒市内の学校は、距離が離れた遠い児童は自宅から30分以上かかるころから通う生徒がいます。今月6月1日から、厚労省は熱中症対策を強化するため、労働安全衛生規則が改正しました。

31度以上1時間を目安に作業する労働環境では重篤化を防ぐために企業が安全対策を取ることを義務付けています。小学校では、児童が下校中に熱中症になり、倒れることを想定しないのでしょうか？

このような登下校をさせるのは生駒市だけでしょうか？奈良県全体が昼に下校させるのでしょうか？下校中に万が一熱中症で倒れ、発見が遅れたら死に至ると思います。